



核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の動き

2012. 10. 28

川崎哲

ICAN共同代表

ピースボート共同代表

核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)



- 2007年、核戦争防止国際医師会議 (IPPNW) から発足
- **核兵器禁止条約**を求める世界的なキャンペーン
- 60カ国にパートナー団体
- メルボルンとジュネーブに事務所
- 共同代表 (ティルマン・ラフ (豪)、レベッカ・ジョンソン (英)、川崎哲 (日)) と国際運営グループ (ISG)
- 2012年5月ウィーン、8月広島で会議
- **2013年3月「核兵器の非人道性」オスロ会議**に焦点

赤十字の動き 「核兵器は国際人道法に反する」



ICRC

■2010年4月
赤十字国際委員会 (ICRC) ケレンベルガー総裁「核の時代に終止符を」

■2011年11月
赤十字社および赤新月協会国際連盟はジュネーブでの国際会議で、核兵器使用が国際人道法違反であることを訴える決議を採択

2012. 5月 NPT準備委員会 16カ国「核軍縮の人道的側面」



核兵器使用がもたらす「**破滅的な人道**上の結果への深い憂慮」、国際人道法の重要性

オーストリア、チリ、コスタリカ、**デンマーク**、バチカン、エジプト、インドネシア、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ナイジェリア、**ノルウェー**、フィリピン、南アフリカ、**スイス**

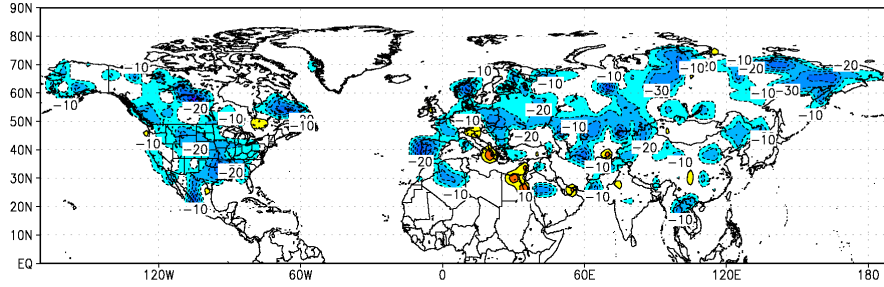
●日本は誘われず



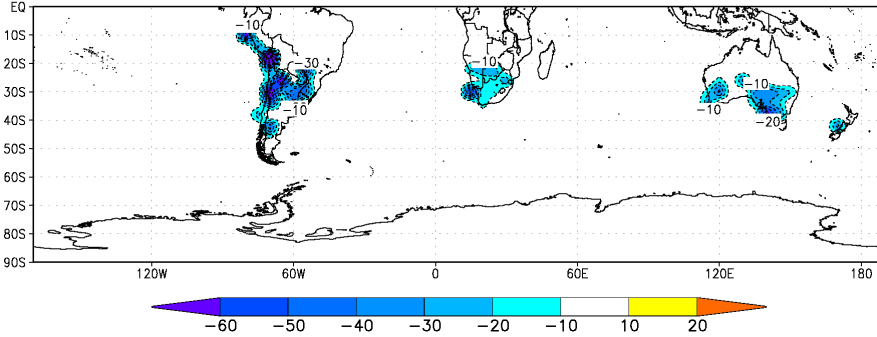
2013年春、ノルウェー 核兵器使用の人道上の結果に 関する国際会議を開催



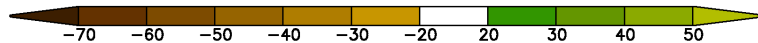
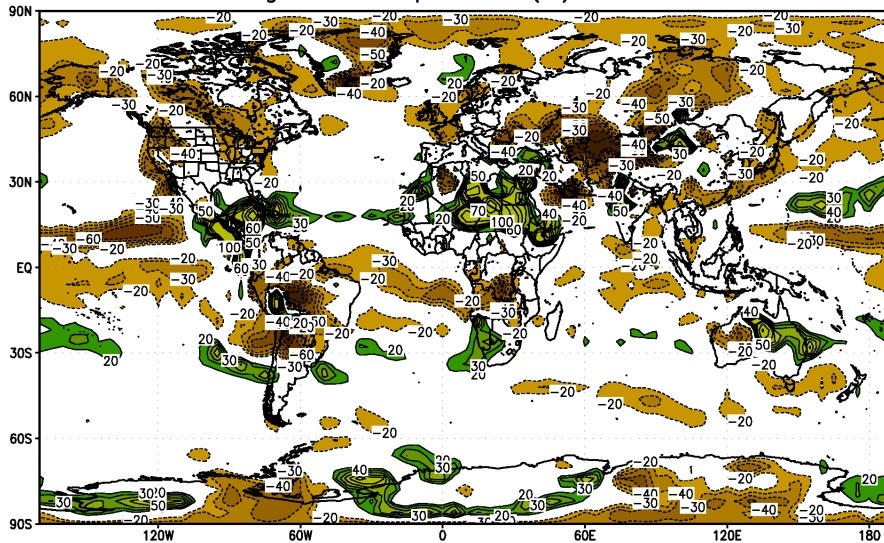
NH Change in Growing Season (days) Year 1



SH Change in Growing Season (days) Year 1-2

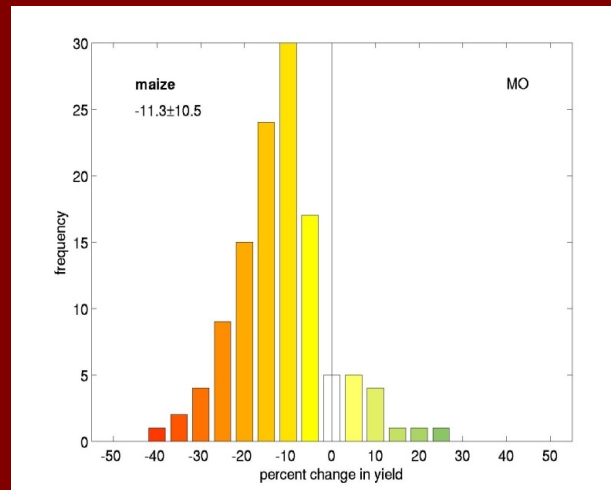
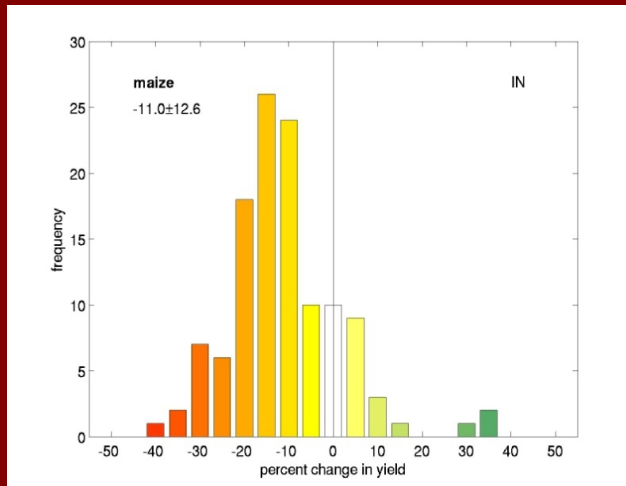
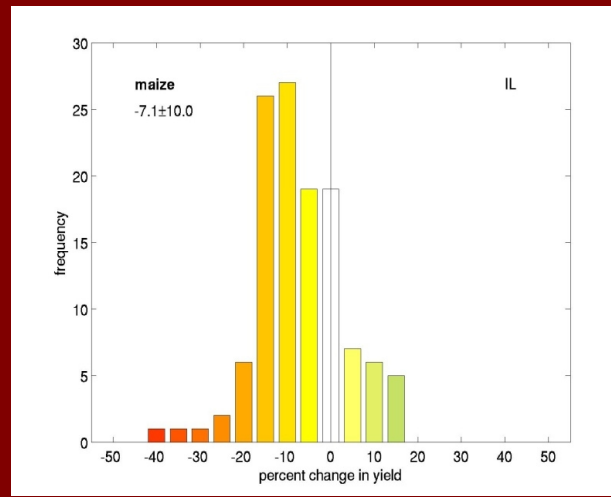
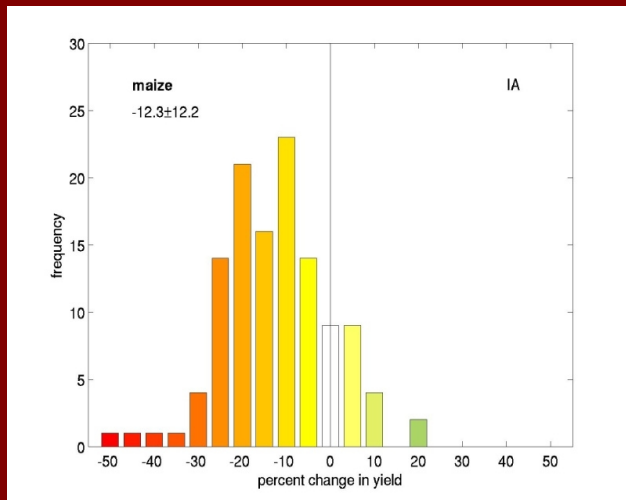


Change in Precipitation (%) JJA Year 1



核の飢饉





10年を平均した4カ所におけるトウモロコシ生産量の変化予測

日本政府の立場



- 核兵器使用は「国際法の基盤にある人道主義の精神に反する」が、「**国際人道法に反するとまでは言えない**」
- 理由は**核抑止力依存**。

ICAN 広島会議 (2012.8.21)

25カ国100人以上が集まる



- ブックレット「**破滅的な人道上の危害**」
- 2012.3 **オスロ会議**から、核兵器禁止条約の交渉開始へ
- 非核国に焦点を当てる
=コア・グループをつくる。妨害国を作らない

国連総会第一委員会 35力国声明 2012.10.22



- 日本は署名拒否。
- 「わが国の安全保障政策と相容れない」

「人道的軍縮」サミット 2012.10.19-21 ニューヨーク



オスロ会議

2013年

3月2～3日 市民サミット

3月4～5日 政府会議



2013年3月、オスロ会議



【1】核兵器の即時的影響

【2】長期的影響

【3】人道救援の困難性

2013年に向けた課題



- 3月オスロ会議 事実調査、専門的論議、科学的アプローチ
- 「人道上の結果」と「国際人道法」の関係
- 日本をどうするか = 日本で何をするか
- ICANの日本での展開、アジア太平洋での展開
- 関連日程
 - 2013.4 アボリション2000 in スコットランド
 - 2013.5 NPT準備委員会 in ジュネーブ
 - 2013.8 平和市長会議 in 広島
 - 2014.春 NPDI(10カ国グループ)外相会合 in 広島